

## 5 今後の予定

2022年  
1 回目 10月 29日 (土) 14:30-17:30  
会場：千里体育馆

### 公園を知る、仲間を知る

公園施設のオープンを目標に一緒に取り組みを考える仲間と交流します。  
お互いのことを知り合い、公園で取り組んでみたい活動を共有します。

2 回目 次回 11月 26日 (土) 14:30-17:30  
会場：千里公民館

### 公園を楽しむ企画を考えよう①

企画講座を実施します。  
公園の資源や個人個人が持つ強みを持ち寄って、活動を企画します。

3 回目 12月 11日 (日) 14:30-17:30  
会場：千里公民館

### 公園を楽しむ企画を考えよう②

公園での活動を参加者同士で紹介し合い、  
さらに企画のブラッシュアップを図ります。

2023年  
4 回目 1月 28日 (土) 14:30-17:30  
会場：千里公民館

### 活動や公園をPRしよう

ちらしデザイン講座を実施します。  
その結果を受けて、取り組みを紹介するチラシを考えます。

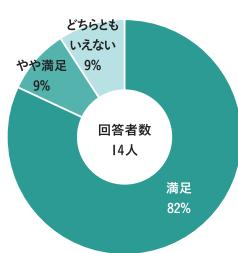
5 回目 2月 25日 (土) 14:30-17:30  
会場：千里公民館

### 活動を準備しよう

施設のオープンに向けて、企画を準備します。  
活動を実施する場所を確認し、本番をイメージしながら準備を進めます。

## 6 アンケートより

### Q1 ワークショップの満足度は？



### Q2 挑戦してみたいと思う企画は？

- ・ヨガ教室を開催したい！
- ・まとめの地図を見てから、また考えたいと思います。
- ・公園のみどりの管理や、資源の活用について学びたいと考えています。
- ・子どもたちと家族が楽しむパークにしたい。



### Q3 ワークショップの感想は？

- ・フィールドワークがおもしろかったです。
- ・公園をまわっている意見を出し合えたのがよかったです。
- ・知っているようで知らないことがたくさんあり、楽しい時間でした。
- ・公園で体を動かすと、いろいろなこと、やりたいことが浮かんできました。
- ・いつもどちらがう視点で公園をめぐることができました。
- ・みなさん、公園をよくしようという想いが同じで、楽しくディスカッションできました。

### 千里中央公園活性化事業について

豊中市では、千里中央公園において公募により選定した事業者「千里中央公園パートナーズ（株式会社ローソン、西日本電信電話株式会社（NTT西日本）、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の3社）」を中心し、公民連携による魅力ある公園づくりを進めています。2023年春の収益施設のオープンに向けた地域のみなさんとつくる千里中央公園の新しい取り組みにぜひご参加お願いします。

#### ●事業内容

- ・活性化プログラム | 企画・運営
- ・収益施設 | コミュニティーカフェの設置・運営
- ・駐車場運営 | 公園自動車駐車場の運営・管理

#### ●事業スケジュール（予定）

- ・活性化プログラム・駐車場運営 | 2022年4月 事業開始
- ・収益施設 | 2023年3月 オープン



詳細はこちらのリンク先より  
ご確認ください

主催:エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
共催:豊中市 環境部 公園みどり推進課  
企画・運営:studio-L

## WORKSHOP 1

# NEWSLETTER

2022年11月発行



## 企画・実践編

千里中央公園では、2023年3月の収益施設オープンに向けて、地域のみなさんといっしょに新しい公園づくりを進めています。

「講座編」に続いて今回の「企画・実践編」では、みなさんと公園を楽しむための企画を考えていきます。5回のワークショップを通じて公園のことを知り、一緒に活動する仲間と出会いながら、企画を実際にやってみましょう！

## 1回目

### 公園を知る、仲間を知る

日 時 10月 29日 (土) 14:30 - 17:30

会 場 千里体育馆 会議室

参加者 17名

## プログラム

- ・開会／はじめに
- ・プロジェクトについて
- ・みんなで自己紹介
- ・企画づくりについて
- ・企画づくりに使えそうな公園の資源を探してみよう！
- ・集めた資源をまとめよう！
- ・発表
- ・閉会／おわりに

7月から8月にかけて開催した「講座編」で学んだことを活かし、実際に公園でやってみたいことを考える「企画実践編」のワークショップが始まりました。第1回ワークショップを10月29日に千里体育馆にて開催しました。今回のテーマは、「公園を知ること」と「仲間を知ること」。一緒に企画を考えていく仲間と交流し、公園で実践してみたい活動を話し合いました。

自己紹介に始まり、互いに打ち解け合ったところで、みんなで公園に出かけ、企画づくりにつかえそうな資源を探すフィールドワークを行いました。ほんのり色づいた木々を見ながら、鳥のさえずりを聞いたり、子どもたちが遊ぶ風景を眺めたり、活動の資源となりそうな人やもの、風景などを探しました。仲間と歩くと、より一層新しい発見があり、いつも見ている景色とはちょっとちがう景色に出会うことができました。最後は、自分たちオリジナルの千里中央公園の資源MAPを作成しました。



# 1 ハロウィンマスクで自己紹介

初回のワークショップということもあり、みなさん緊張した面持ちで会場入りされました。公園で企画を考える前に、まずは仲を深められるように自己紹介をしました。ハロウィンが近かったこともあり、ドラキュラやフラン肯シュタインのシールをマスクに貼って仮装しました!お互いのマスク姿を見ると、一気に緊張がほぐれたようでした。4つのグループにわけられ、①ワークショップに参加した理由、②得意なこと、③公園内でやってみたいことについて紹介し合いました。「今朝もサウナに行ったぐらいサウナ好きなので、公園でサウナバスをやってみたい」や、「花壇ボランティアをしたい」、「公園の池でSUPをやってみたい」、「お母さんが公園でほっとできる場所づくりがしたい」など、早くも活用アイデアがたくさん聞こえてくる自己紹介となりました。



# 2 事例から学ぶ

## ●泉北ニュータウン「泉北をつむぐ まちとわたしプロジェクト」

企画の立ち上げ方の参考として堺市泉北ニュータウンの「泉北をつむぐ まちとわたしプロジェクト」について紹介がありました。泉北ニュータウンでは、高齢化や団地の老朽化に伴い、地域の魅力が薄れきっている課題を抱えています。そこで、自分たちが住む地域の魅力を再確認し、自然の豊かさや、食の恵みなどを住民自らの力で発信していくうと、2014年に堺市役所が音頭をとって、プロジェクトが立ち上りました。初年度は6つのチームが生まれました。「だんじりキッチンチーム」は、廃校になった学校から譲り受けたリヤカーに、地元の野菜を積み、公園内を練り歩いた後にカレーをふるまう取り組みをしています。「泉北レモンチーム」は、「泉北といえばレモンのまちと言われるようなまちにしたい」と活動を始めました。特産品の開発に加え、自宅の庭でレモンを育てられるように講習会や苗木の販売も展開しました。「緑道ピクニックチーム」は、公園や緑道などの豊かな自然を楽しむための活動として、ピクニックやヨガ、ランニングなどの企画を生み出しました。



▲この指とまれで企画が立ち上がる



▲新メンバー募集と企画お披露目会を繰り返す



▲サカイ引越センターとコラボしたダンボール基地づくり

## ●プロジェクトの進め方について

1年目は企画づくりの種となる「まちの資源」を探すフィールドワークを行い、そこで新しく出会った仲間と一緒に企画を立ち上げました。企画は「この指とまれ」方式で、発案者に賛同した人たちでチームをつくりました。秋には考えた企画でお披露目会を開催しました。その様子をSNSなどで発信し地域内外に魅力を伝えました。2年目はさらに仲間を増やし、新たな企画を立ち上げ、実践し、振り返ることを繰り返しました。3年目は、市民自らが活動を継続できるように、事務局機能の検討とその担い手を育成しました。千里中央公園のプロジェクトではどのような手順で進めていくのがよいのか、みなさんとご相談しながら考えていきたいと思います。

## ●企業連携から生まれた企画

子どもたちの遊び場を考えるチームは、お披露目会で段ボール秘密基地をつくりました。地元のサカイ引越センターが企画を持ち込み、大量の段ボールを提供しました。千里中央公園のプロジェクトには、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社をはじめ多くの民間企業が関わります。企業と連携した取り組みを考えることも、今回のプロジェクトならでは、おもしろい展開が生まれると思います。

# 3 公園の資源を探そう

事例を学んだ後は、公園の資源を探すフィールドワークがへ出かけました。「この場所つかえる!」、「こんな物もつかえるな」、「この植物を題材に何かできるかも」、「この風景すてき」、「この人いいな」といった模索は、まさに宝さがしのようでした。また、各班には1枚ずつ「お題カード(パワースポットを探そう、公園の真ん中といえどどこなど)」が配られていました。撮影した写真やコメントは、みんなでシェアできるように、LINEのオープンチャットに投稿しました。植物に詳しい人から木の実の名前やカブトムシがとれるスポットを聞いたり、新たな発見がたくさんありました。



# 4 千里中央公園資源MAP

